

装
劍
奇
賞

諸工名譜 其一



和書門			
二七四	一八	九	三
一號	函	架	冊

內閣文庫			和書
五	二	三	
四	七	四	
函	三	一	
架	冊	號	類

內閣文庫	
番號	和 27431
冊數	7 (3)
函號	154 87



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



字類譜名工雕

矩 三十六ウ	孫 三十五ウ	英 三十ウ	政 廿三ウ	弘 二十ウ	知 十六ウ	忠 十ウ	宗 一ウ
	有 三十五ウ	常 三十二ウ	正 廿五ウ	序 二十ウ	其 十六ウ	安 十一ウ	利 五ウ
	尚 三十五ウ	清 三十三ウ	信 廿九ウ	長 廿一ウ	如 十六ウ	光 十二ウ	重 一ウ
	則 三十六ウ	尹 三十五ウ	陳 三十ウ	久 廿二ウ	直 十七ウ	芳 十五ウ	乘 九ウ

卷之三

裝劔奇賞卷之三

浪華

稻葉

通龍
新右衛門著

宗

宗興

彫工諸家名譜

横谷氏名盛次
寛永年中下り
御彫物御用頂戴
持住神田此日祖父

稱次兵衛
京新町武者小路住
江戸正保年中被為
御藏米貳百俵二十一人扶

上子... 得て頗小が... 作る

宗和

名次貞稱次兵衛
御用貞享四年没

宗興家督勤

宗珉

名友常號遜菴俗稱次兵衛
御用後辞
御扶持享保十八年没

横谷氏の中興... 宗

彫て作... 其名

表刻奇賞

宗

宗

後世よ此こそ人幸成ねづひて探幽法印よた
 より或ハ英一蝶よちりて下成成少や矣
 りて^エ風^{フウ}銀^ケ金^{ボリ}と^リよ^リの^成創^{サウ}意^イして^{ツヒ}遂^ニ一^{ツカ}家
 成^ニたり^シ是^ニ江^ノ府^ニて^ニ町^チ彫^{ホリ}と^リよ^リの^成め^シ
 此^{オキナ}乃^{多クニ}工^{ボシ}凡^ニが^リら^ズる^ニ志^{コソ}高^クく^ニ志^ヲ画^{ガク}趣^{シユ}傳^セ淡^{ダン}
 して^{ミツ}水^{ミドリ}碧^{イサゴ}よ^リ沙^{マキラカ}明^{エニ}が^リら^ズる^ニ志^ヲ山^ヲ月^ヲを^{オビ}帯^ニ連^{サバ}峯^{ハリ}
 する^{ソノ}い^カ成^ガふ^カら^ズる^ニ景^{サガシ}倒^シよ^リ鑿^{ウツル}が^リら^ズる^ニ人^ニ為^ルの^成及^ビ
 ば^フざ^チら^フ風^{フウ}致^チあり^ニ

宗

與

名ハ友貞 江戸神田住 横谷氏宗珉子

上をなぐ父乃風成く成るるを成るるをい

宗

珉

名ハ友次 當代

明和三年父宗與隱居して家督成嗣上りて

宗

峯

植村氏

京都御池通富小路東へ入町に住む俗稱ハ升

宗

堅

尾寄氏

を九右衛門とて武者人物一流の彫工と

宗

徹

重兵衛と称し後孫程乘弟子

表刺奇賞

卷之三

三

三

宗典 喜多川氏 二代目

江州彦根の人。藻柄子と銘とよみ。成俗或

ハあまきつてモガラシとよむりのあり。一笑は堪ら

宗左衛門

妻谷氏薩州乃人。後江戸に住と

宗兵衛

右宗左衛門の子なり

宗介

紀氏 江戸住

明珍大隅守と稱と。信家此末葉と云。よて信

家作の鐔又ハ胃鉢は折紙を出せり

宗久

藤田氏圓右衛門と稱と。埋忠信房弟とて。藤

田のちを嗣ぐ。加州金澤此人なり。細工もよく

鮮明にして上もとりよべと位なり

宗房

藤田氏丈助と稱と。宗久此弟。金澤木新保町

に住。兄と並稱と。上手なり

宗吉

象眼師なり。保年間伏見より加州金澤

移る。祿百石を賜ひ。兵部と稱を上りたり

宗次

兵部弟子

次郎と稱を加州金澤象眼工

宗長

同上

九郎次と稱を加州金澤象眼工

宗義

埋忠氏橘宗義と銘一數馬助と稱を大坂の住

宗益

井上氏

上京狩野辻子と住を

宗由心

江戸住

宗理

其姓未詳嘉平次と稱を宗珉弟子なり

和乎肥前守様御抱なり

宗則

其姓未詳稱弁之助一京師住
鉄屋源兵衛弟子

宗利

鐔工なり其銘をえらに表は上佐國住明珍

宗利裏は神道五鉄鍊と題を鉄の治至て

上はなるりのなり

利治

奈良氏 稱四郎兵衛

江府に住とも、際情楚々として氣象あり上手

とよび

利永

奈良氏

七郎左衛門と稱む。江府神田に住む

利光

奈良氏 稱七郎左衛門
江府山伏井戸住

宗閑と號を、七十二歳にて没む。利永子なり

利壽

奈良氏 太兵衛と稱む。江府本庄に住む。利永の弟子なり。名人

其細工家風も、横谷凡もあらず。草花鳥類

等、甚ましく、一と稱美と已

前より縁れらるる。或三分ある縁など。當時も

やりし。奈良風を擬する人多く。數品あり

ども、け人のも、漁りたり。ハ止及べく。奇

巧あり。志が。近年、奈良彫の志あり

りの。必む。利壽乃銘を彫るもの。きり

足燕石の玉に似る。たぐひ。下和氏の

瀧。ふらぶ

利隨



江戸神田に住む。其姓未詳。矩隨弟子

利國

利國 藝藝節節

江府の住、奈良風なり

利助

植村氏

京富小路御池下町に住と、俗稱升屋利助と

了、宗峯弟子

利長

姓氏居住等未詳

藻出乃鯨かしの縁頭よは銘間及くきん、

利光

姓氏等未詳江戸住
但前ニ出タル奈良利光トハ別人

利貞

氏等未詳佐渡人

鏝工なり、透無地と、鐵の治甚く精良なり

工亦おてよなり

重

重右衛門

黒瀬氏

後藤藤廉乗弟子

重次

岩井氏、後右衛門と稱む、後藤藤廉乗弟子

重吉

埋忠氏 京師人

初重義と、義満公に仕へたる鏝縁頭

なり、以作はよなり

重吉

埋忠氏 京師人

彦二郎と稱む、明壽と號し、將軍義昭公

豊臣秀吉公及び関白秀次公に仕へ彫物、希代

此上手なり。鏢又劍をも打ト人として今も
て。これ以珍重と

重義 埋忠氏

彦二郎と稱む。法橋位に叙し。明真と號す。
刀劍此銘ハ家隆と切ま。以外他國に埋
忠を姓とす。取工あはハ家乃弟子筋ナ
ス。

重長 新七と稱む

重次 喜八郎と稱む。辻山城守弟子家

右共ニ加州の象眼工なり

重基 久保氏

京都佛光寺新町に住む。俗稱鉄屋金兵衛と
す。始武教と銘む。鉄屋傳兵衛弟子

重廣 吉岡氏

江戸府に住む。奈良風なり。吉岡の元祖
重光也。大森氏 江戸金龍山下住

重光 善 中村氏

与市と稱む。英昌前彫と銘する不なり
半七と云ふ江戸の住

重治 奈良氏

重兵衛と稱ど江戸此人なり。利永弟子

重啓 奈良氏

江戸に住と

重綱 渡邊氏

重賢 佐々木氏 京師住寛永年間人

重二郎 姓氏等未詳 京師本満寺辻子

重勝 正阿弥 任所等未詳

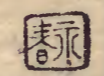
重信 姓氏未詳俗稱喜太郎 京師住 鉄屋傳兵衛弟子

乘

乘意



奈良氏 江戸金吹町に住と



前彫ノ印 如此ナリ

以て初奈良太七と稱して奈良善三才子なり。

一、一、舞堂永春といひ後杉浦仙右衛門と改む。

深川御所住とて彫工鍛錬精到已名

人の域にまゐる奈良風此一変して肉合賦と云

この成創意せり是成其師ありと云ふ

謂青ハ藍より出て藍より青との類にて超

凡此弄工なりと整つと直にして氣力成ふと

この成掌上の致ハすぬを視るは成刀劍と云

その品を高きもの味と名人乃積と云べし

乗圓 藤井氏

後藤藤原乗弟子なり

乗知 佐々木氏稱庄兵衛、京師並町住
後藤勘兵衛弟子

乗竹 磯野氏 京師住

俗稱升屋文右衛門寛延比小左衛門と改む

乗光 西井氏 大坂菅田町善菴筋住

俗稱升屋宇兵衛京師升屋喜兵衛弟子

惠忠吉 野村氏

辻平八と稱し江府に住む津尋甫弟子なり

忠義五 江府住

地磨^{チミガキ}、傘^{カサ}、冠^{カウ}などの彫物あり縁頭^{エシロ}なり

臨^{リン}ふう、さひく、奈良風なり

忠兵衛

江府の人宗珉弟子

忠七 小田氏 薩摩谷山住

鉄物師なり刀豆^{ナマメ}の鐔^{ツバ}なり彫物あり

忠平

忠清 三郎之傳と稱む。加州金澤象眼師之。正保乃
以伏見より彼地に移りて。初五拾俵を賜ふ

忠好 庄太郎と稱む。加州金澤象眼工なり

忠道 京師の人。鐸工なり

忠連 京師の人。佐々木氏に伝ふ。大坂玉造に住む

三郎之傳と稱む。大坂玉造に住む

安親



奈良氏本姓土屋 江戸神田龍閑町

俗稱 弥五八。後東雨と稱む。奈良辰政弟。三之
玉より上手なり。利壽に似て。同一加らる曲者
なり。たゞは光琳の梅を画す。千鳥を筆とするが
如く。他画の梅を多くし。物もバ別様おねがひ
たがアそつと。梅とひ子を多くし。うらぐらぐ。奇
こころそめ。詣り。是又近年。價造多し。出
る。中。庸手。擬。ま。つ。ま。あ。り。次
具眼。れ。ま。の。ハ。モ。真。價。忽。上。辨。ど。ー。ー

初安信と名乗。奈良東兩子。父より
ざり上なる。江戸に住す。

安重瓦 布施氏稱庄三郎 多藤即乘弟子

安光為 奈良氏 江戸住

安直 野田氏

忠左衛門と稱。京富小路押小路上町に住す。

安道 橋氏 讃州高松研屋町に住す。

弥右衛門と稱。上手。高松彦所扶持人。

安之 江戸住

安兵衛 渡部氏 京風呂子

光

光行 菊岡氏 江戸神田堅大工町住 横川直光弟子
俗稱利藤次號獨甫齋又崔下菴

上なる。横谷風。て。やろくに不高一。

志のぶらそまはむもてげなきや。すぐに地。

附。ざらざら。た。て。かある。脈なり。

光政 菊岡氏

江府此人。光行弟なり。

光 如此アリテ其實未詳

赤銅地縁など。地磨。て。又幸なる。洲流。

乃類。成彫りのあり。

光英 三上氏 江戸浅草観音寺内住

柳川直光弟子あり

光林 大月氏

鑿の痕奇麗 フコヤテ 氣象 フコヤテ 健ふは上手なり

於尾陽名古屋旅宿作之と銘するもの間あり

光重 埋忠氏

京都西陣に住

光成 青柳氏 江戸敷奇屋川岸住

良光前彫の銘よりて、稻川氏の弟子なり

光慶 江府の人

江府の人

光守 後藤氏

以後藤氏へつとこれ別きや末洋大躰の作なり

光國 阿部氏

俗稱升屋義之傷京富小路御池上町に住と

光春 坂元氏

俗稱升屋嘉之傷京富小路御池上町に住と生類人物を彫事哉との心

光行 馬

京師の人

光貞

光秀 伊右衛門と稱と。宗珉弟子なり。勢州津の人。

光政 七郎と稱と。其子も同七郎と呼。越前州片町に住と。

光源 六と稱と。多光弟なり。加州金澤南町に住人。鑿此痕。清楚なり。甚巧なり。

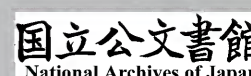
光章 加州金澤に住と。甚右衛門と稱と。終登後藤甚右衛門の子なり。

光悦 藤本氏。傳十郎と稱と。悦乗弟子なり。加州金澤の住と。上手なり。も後健なり。又事なり。歌なり。

光定 村上氏。藤太夫と稱と。越中富山に住と。

光永 京師に住と。

光暁 深州に住。光暁と銘あり。縁の天井まで。金。



秋の野かゞ残りて深淵フカシと云

光政

光伸

右共トモ上トモ下トモ一トモ、其トモ是トモ我トモ美濃ミナ源ノリと云ひ、
或ハ美濃ミナ後ノリ孫ノリかゞと稱シヨウと云事コト詳シユなり、
但シ元祖タニ祐乘タニは國クニの産ウマヒなれば、
其コノ支流シヅクも亦モ知チべからず、今イマ美濃ミナ源ノリと云
ハ商家シヤウよりいひ出デせり、
大月オホツキ氏ミツツネ 京師キョウシ小川コガハ夷川ヒラカハ任ニ

光恒

俗稱山城屋喜八、光林十九世孫と云

光義カミ

西村氏 京師高倉竹屋町住

俗稱笹屋源助、大月光恒オホツキミツツネの弟子シシ上ノリと云

光品

後藤氏稱七郎右衛門

光籌

同 喜兵衛

光長

同 半左衛門

光辰

同 七郎兵衛

光豊

同 勘兵衛

右代ミダ上京室町頭ガシラ後孫ノリ辻子ツジ住ノリと云、
上カミ後孫ゴトウと云、同ドウ苗彫メウホリなり、各前カハの家譜カフに載カ
そとをいふと其系譜ケイフ詳シユなり、
姑レハナく

長別奇賞

卷之三

十五

長澤館蔵

類字よりりて此に列せり。くまゝくまゝ後篇より
出して其工をも品題さす。一
後藤氏

大づきの後藤氏支流もや詳あらず。銘り。
於江州彦根彫之行年六十三歳と云々

光友

芳

芳章

田中氏稱五左衛門。江戸湯島天神下住
後藤利兵衛。元倫守子。至りし也

芳信

百壽軒ト號ス
俗稱市十郎

江戸神田永富町
芳宣ト銘あるもの同他也

知

知義

長州萩の人上りなり

知隨

賓野氏 江戸神田鍛冶町住

金左衛門と稱す。後鋪隨と改む。政隨弟子之

知真

弥七と云ひて。京師の産なり。後大坂に住せり

其

其阿彌

姓名居住等未詳。鐸工也

其友

姓氏居住等未詳

地磨モイデと稱出此鯉コヒ或ハ海老エビなどの縁フチカラ以間マ

如

如竹

村上入 江戸住増上寺新門前

其々々々ハ、^{アガ}燈の象、眼師なる。其父も同、是、^{ケツ}業とを、^カ人の象、眼^メ又於てハ、一流と^カいふべし。至て上^カの^カし、^シ群を出づ。今名^カ又因て^カ其、^カ評せど、竹乃外直^カうして、中^カ虚く、^カ一^カ點^カ乃障^カちさう^カて、^カ工^カど^カして自然^カの工あり。そ、^カ兼^カ乃^カ涸^カく^カして、^カ清風^カを^カ含^カみ、^カ又^カて^カその^カ残^カして、^カ涼^カか^カく^カして、^カ此^カ奇^カ致^カあり

如

如筆

是、^カて草書^カの^カ秘^カして、^カ文字^カ詳^カならず、^カ倘^カ或^カ筆^カの字^カも、^カ字^カ典^カ又^カあ^カら^カず、^カ故^カ又^カら^カん^カあ^カら^カず、^カ後^カ考^カを^カ待^カの^カ。

直

是、^カも象^カ眼^カ海^カを^カり、^カ子^カ孫^カ奇^カ異^カなり。如竹^カよ^カま^カか^カ。

如

如鉄

この多^カし。如竹^カ弟子^カう^カて、^カ後^カ子^カと^カなる^カし。

如

如水

加茂氏孫山光堂と銘と、京師の人

如

如柳

如竹^カ弟子^カ江戸^カ芝^カ神明^カ前任^カ

如

如柏

如竹^カ弟子^カ俗^カ稱^カ和^カ助^カ江戸^カ赤^カ坂^カ田^カ町^カ住^カ

如

如泉

如竹^カ弟子^カニ^カヤ^カ未^カ詳^カ象^カ眼^カ物^カ見^カユ^カタリ

如

如篤

草^カ字^カの^カめ^カき^カの^カ篤^カれ^カ字^カなり^カ。

表判奇賞

卷之三

如

如

定是館

直

直政

柳川氏

後法名宗圓ト名ク

是二左馬一稱ど江府神田の住初吉岡氏
師と後宗珉弟子となす甚モツキ上キなる但人
物哉彫ハ事ハ以テのミず其最長モツキなる獅子
之を横谷獅子と賞して一流とせり或ハ野馬
等亦妙なりモ子ハ像奇麗なる事納子ト云
精到力あり石ハ一ハ流ハのあり又紅紫
れハうハなるを望シぐハとハ又事ハうハてハすハと
所あり尤珍重とハきハりのハなり

直光

柳川氏

江戸神田住

直

利多ハと稱ど直政弟子也柳川風トして恰

直

と直政ハつハにハ似ハとハ横谷風ハ

直

かハのハきハ斬タカ金の跡ハはハらハひハなくハ勢イキホヒ乃ハ屑イキホヒと尚タカひ

直

きハ備シラウレ酒ハとハ事ハはハ茅アサの上ハ村ムラサメ雨ハのハとハぶハと

直

直政死後三左衛門と改め

直

克胤 稲川氏 江戸神田永富町住

直

文四郎と稱ど直政弟子能其工ハはハらハる横谷

直

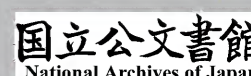
風ハとハてハ上ハとハなる

直

矩 小中村氏

直

金四郎と稱ど直政弟子なり江戸の住



直好

佐野氏 江戸 白銀町住
秋本彦の御抱

直利

利ハと稱を直矩の弟子なり。横谷風より。其品高く上りあり

直久

古姓氏俗稱未詳。直政弟子なり。江戸の住

直春

柳川氏稱小平次

直幸 此子江府神田に住す

直利

森川氏稱久次郎 江戸神田濱松町住

彫物師なりと納子成時と名人とあり

直舊

尾崎氏稱要八 江戸新橋惣十郎町住

家風に似て。龍又ハ獅子と彫事。列して功者

直考

柳川直政弟子 江戸住

直隨

隨

遠山氏 江戸浅草大音寺前住

傳藏と稱を矩隨弟子あり

直常

加藤氏

江戸神田三河町

市郎兵衛と稱を

直幸

柳川氏稱小平次

直政弟子 江戸人

直次

清水氏稱甚右衛門 江戸住
直政弟子 柳川小平次直春実父也

巻之三
三十一
三十一

直之 江戸住

直政 尾崎氏

初ハ志未達ハ後ニ孫丸也ト稱ズ江府教寺
屋川岸南ニヤ本町住其彫奇ヲ慕フテ氣
象化スルウゾ古ヨイミダラる名人尤家流ヲ精

直次 京師住

直道 宗田氏 大坂住

又兵衛ト稱ズ後入道トテ道直ト改むその
先京師の人父を徳直トシ人物を彫る事
上心なり高彫肉合取等至て見事なりテカ

直重 宗田氏 大坂住 彫物師

直道子トシテ父乃名成化トシテ上ヨシ

直峯 宗田氏 大坂住

治助ト稱ズ一山齋ト號ス直道弟子ト

弘良 栗村氏 加州金澤住 盛良弟程乘弟子上手

佐左衛門ト稱ズ古工ト號ス大聖持死驛守様ト
了福百石以テテ後浪人ト入道トテ浄空ト稱ズ

弘次 姓氏居住等未詳

表刻荷賞 卷之三 弘

藝文類聚 卷之三

序 序 克 菊池氏

相川直克弟子江府下谷根岸住柳川流にて
高彫の上の毛彫ハ一流くも際そのまじり
品乃高きよきでよくそのひらき事仰らる
智勇兼備とらん持たるん

序 光 菊池氏稱伊右衛門

序 克 弟子として江府神田に住せり柳川流の
毛彫は巧くして甚うくくまうくにぞ
いなる彫く恨く主勢頗るゆるめ

序 春 江戸神田住

長 常 菊池氏

柏屋忠ハと稱して滅金師ハ弟子なる初雪
山と銘して後越前大掾と受領下り
又含童子とも稱し京都麩屋町二條下
に住せりけ人の彫工の妙なり実ハ天然
つづー其初筆或ハ土筆蝸牛蛙芽れ生寫
その成このみて人びりて目眩
彫琢ハ自由を得て縦横のやうに就或ハ獅子
又ハ人物など對し臨み需に應じて彫出
奇く妙ハ當之乃神工とつづー故ハ之乃賞

表刻奇賞 卷之三 序長

新編 徳川実録 卷之三

政春 國岡氏

國岡氏政春酒樂作と銘と江戸の住

政徳 正阿弥 埋忠氏

市郎兵衛と稱ど京都西陣に任

政昌 正阿弥

播州赤穂の住

政平

甚七と稱ど加州象眼工辻山城守末流

政信

甚之儀と稱ど政平の子なり

正長 奈良氏 利永弟子

清六と稱ど江戸浅草内門内馬喰町四丁目一住

是より後奇癖として力あり

密を通せよと稱ど

橋部氏

正程

後意程乗弟子なり


正治 富士氏 江戸西久保永井町住

正親 奈良氏 同 横山町三丁目住

清六と稱ど初ハ乗和といひて乗意弟子分也

表訓奇賞 卷之三 正 十五 芝罘館蔵


正長没後二三年ハ正長も銘を切後又正親と銘を乘意ハ其伯母ヲバ智チなるハコ以て弟子分とらざる者ありて工多ハ父及びヨウ庸ニ工ハなり

正敷  奈良氏正長弟子 江戸兩國駒留橋住

善二と稱し初江戸にて正次といひ中頃幸と名乗後正敷と改一亀光とも銘を老後大坂より住む蟠龍アノリウを彫り好むなり一流派

正間 河原氏 江戸小傳馬町二丁目住

正法 法虎と稱し奈良正親弟子なり

正虎  西川氏


江戸赤坂畔鉄谷に住む鐸工の上

正重 奈良氏 江戸八丁堀邊住

新太郎と稱し奈良正親弟子

正次 野村氏 阿州侯御抱

江戸京橋に住む野村忠吉弟子

正信  伊藤氏

俗稱鐸屋太助京師新町松原下所住む鐸

師なり

正恒 伊藤氏稱甚右衛門 江戸神田住

表刻奇賞 卷之三 一一流ノ元祖

正 方 細透鐔乃作之於てハ獨歩此名工也

正 怡 ホノスカシ 細透と云ふ厥鐔工なり正恒の子

正 尹 ハ 江戸ノ住也毛彫工なり

正 親 江戸ノ住也正尹ニサネとヒコ義文ニシと銘を

正 元 イマゴ 磯野氏 京御池柳馬場東へ入

正 伯 俗稱升屋小左衛門 磯野氏

正 入 俗稱住所等同上 同上 京二條麩屋町西へ入

正 博 俗稱小左衛門後小兵衛と改 同上

正 克 初正勝ニサカツと銘を俗稱住所並同上

其住所未詳其彫を以て推せん京彫此上と云
中なり上京の人なるべし



梨念言 實 老之三 七 之 翠 節 倉

正國 肥前唐津住

鐔ホッスカシ細透ホッスカシ此上手なり

正則 平尾氏 備後福山住人

地がひらけく。てのけりとせし厥なり。江戸の町

敷厥のふたご。地磨地石目等をこのひびまご

納子地れりのひびまご

正種 津田氏 京都烏丸八幡町一住

俗稱白銀屋彦彦湯とて。白銀師乃上より。厥物

白師ハハ縁以目費小柄。鐔ホッスカシなどのホッスカシの

をホッスカシなる事ホッスカシ功考ホッスカシ

正次 成

江戸芝新銭座一住

正國 姓氏未詳 江戸住

正侶 姓氏未詳 備前岡山住

五 魚ウナギ堀入 縁以ホッスカシなる事なり

正安 平田氏五代目阿州徳島紙屋町住

與八郎と稱む。象眼工なり

正壽 玉川氏 常州水戸鍛冶町住

文平と稱む。美壽ヨシナガ此子なり。後江戸浅州ノ

何と父よりおとさる上よりして。甚く奇癖オカシク

表別寄賞

卷之三

江戸 芝新銭座

器用なる作とすべし

正則村上氏 江戸芝宇田川町住

五 唯七と稱は如竹弟にて象眼高彫とし上

子なり。志くれば其位ハ如并下タき

正勝 姓氏未詳 下總國佐倉住

正次 初唐津中比小田原ニ住スト云 江戸住

正道 姓氏居住等未詳但阿州侯御抱

五 野村正道トテ江戸住人アリ此花押ヲ銘

正親 平田氏梅市左衛門ト阿州徳島紙屋町住 津尋甫弟子 阿州御扶持人

信 信時 女堂氏

平七と稱は尾州名護屋大津町住人なり

赤銅地磨高象眼むり入など甚どえ奉り

結構なる事蜀錦よまきなり人ありて是

なりとあたるある人市をりすごと

生得一癖あるものごとくは成ひのどき系

師の遊び統しそ名をかろりし作物なき

かきぞ價必ぞきし最もきしむさい人こ

信方 江戸住

奈良弥五八をまづす対候梅等未詳

類聚言賞
卷之三
三十一

信益

モシドツカサジ
主水司從六位下主水令史原井氏なり銘を

其居住等未詳

信清

江戸住

信房

理忠氏

清之丞と稱む加州金澤に住森村古工此弟子

なり。子際奇藤うう。古色あり。上よりとるべし

信重

奥州會陽住正阿弥藤原氏と銘を俗稱未詳

大駱の作なり

信安

後藤氏

與大佛つと稱む大坂伏見掘貳丁目に住と

信經

姓氏未詳

奥州仙臺住

はくは作別々細金無垢入物上よりあり

陳陳孝

奈良氏

江戸小傳馬町貳丁目新道住

陳喜

伊八と稱む正長前那の銘を

綾刺奇賞
卷之三
陳

英

英昌

大森氏 江戸浅草三軒町住
俗稱輿市直政弟子

一ニ幹支間此銘あり。大木林流の元祖上りなり

英秀

大森氏 住河同上 今浅草柳橋住
英昌弟子ニシテ後子トナル

喜惣次と稱ど。母大木林一流と稱するハば人より

盛なり。子彫琢岩城はんぐ勢ありて。志かも甚

奇廉し。口分一ニ浪なみの深厭至て人事に。

又梨子地此深牡丹此類ハ其似多し。わはらぬ

あり。宗珉の一輪牡丹を擬して。創意せしむ

りのやえし。武者物好し妙し

英精

横谷氏稱伊右衛門 江戸新橋守山町住
後改宗祐宗與兄

至て上りなれども其作事不劣。知人稀し

英精

二代目 現在 江戸京橋太田屋敷住
初石川久蔵ト云寫物ノ上手 後邑珉ト號ス

上りなり。ば人厭琢乃利し。達者なり

事おどりのなり。たは小刀柄が裁

む。興の業は。鑿を弄びて数柄

作事。奇し妙し。旁よ人なを

英茂

英精子稱巳之助 初銘宣貞

英辰

大森英昌弟子 江戸浅草住

英幸

江戸住

常和 奈良氏 江戸住

表六と稱ぶ。跡五八弟子なり。

常重 川村氏 江戸神田住

市右衛門と稱ぶ。初関ヒキダチ口カキ子コ嘉カと銘ナリを

常定

江府神田に住む。菊池キクチ序ツツ克カ弟子カなり。

常克

江戸住俗稱姓氏未詳

常榮

同上

常隆

姓氏居住等未詳

常直

久兵衛と稱ぶ。長常ナガツナの弟子なり。攝州セツシュ高槻タカヅキの

産ウマみて。後京師キョウシに住む。

常道

姓氏未詳 京師人
篠崎氏 常州水戸白銀町住

常勸

勝國カトクニの子なり。庄三郎と云。後雪軒ユキケンと稱ぶ。

清 清次郎

後藤氏

其名未詳加州金澤乃住後藤市を居つ子なり
奇作と云ふに奇廉うて力あり上よと云ふ也

清 左衛門

後藤氏

そ又名京洋なる加州金澤に住して久保が
才く細工ハ上ようて珍重と云ふ事なり

清 冷

後藤氏

七之層と稱む久清が子か加州金澤袋町に住
も是又上ようて貴と云ふ事なり

清 定

其姓未詳奥州仙臺魚屋町に住むと云作甚
又兼のうて上よなり

清 吉

島村氏 江戸神田橋本町住

直利弟子なり。鮎子成爲く上と

清 安

伊藤氏 江戸住

墨繪様の象眼がど頗る奇く但如竹肌と

清 助

尾州名古屋長者町の住姓名未詳

清 乘

後藤氏

利兵衛と稱む江戸浅草堀田原の住なり江

装劍奇賞卷之三終

則

則虎

姓氏未詳

江戸住

則久岳

同上

同上

矩

矩隨

如竹風北象眼工なる

隨

濱野氏野字壁ニ作レリ俗稱忠五郎

政隨

政隨は弟子と云ふも、乘意風北肉合彫なり。近

年外、い人乃作

擬とれども、皮にて及ぶ

矩最

中澤氏

矩隨弟子歟

江戸住

装劍奇賞卷之三終

